

◆ お手伝いについて(1)

〈調査日 10/2～4 回答率 96.8%〉

◆ お手伝いについて(2)

〈調査日 10/11～15 回答率 97.2%〉

質問事項			①(家で)決まっているお手伝いがあるか?		②(家で)どれくらいお手伝いをしているか?			③(家で)濡れ雑巾を使った拭き掃除をすることがあるか?			④(家で)ほうきでの掃き掃除をすることがあるか?			
			ある	無い	毎日 のよう にす め て ※ い ろ ろ 含	回 週 時 含 ※ あ ま り し な い	週 間 に 一 回 ※ 二	よ く あ る	た ま に あ る	※ ほ と ん ど 無 い 無 含	よ く あ る	た ま に あ る	※ ほ と ん ど 無 い 無 含	
学年	在籍	回答						回答						
1年	32	31	11	20	4	26	1	31	10	9	12	6	13	12
2年	40	39	18	21	22	10	7	40	6	15	19	14	12	14
3年	36	35	10	25	10	14	11	36	3	19	14	11	18	7
4年	47	47	19	28	29	18	0	47	4	30	13	27	13	7
5年	42	40	18	22	8	25	7	38	4	24	10	12	19	7
6年	45	43	13	30	14	26	3	44	1	30	13	8	31	5
特支	5	4	2	2	0	3	1	4	0	2	2	0	3	1
全校	247	239	91	148	87	122	30	240	28	129	83	78	109	53
回答数に対する割合 (%)			38.1	61.9	36.4	51.0	12.6		11.7	53.8	34.6	32.5	45.4	22.1

決まったお手伝いは無くとも意外にお手伝いをしているようで感心です。拭き掃除や掃き掃除なども予想以上にいられているようで好ましいと言えるかもしれません。今後もいろいろなお手伝いを推奨していきましょう。

特活事始め

◆ 学級活動について(5)

「(1)学級や学校の生活づくり」の活動として、学級生活の充実と向上を願って様々な取組を行っています。学級会の醍醐味でもあります。学級内の集会活動の運営等を計画することは子どもたちにとって楽しい話合いの時間かもしれませんが、同時に厳しい現実にも触れることとなります。議題を事前に子どもたちと共に「AorB」の形に絞り込んで話合いの時間を充実させ最後には協議の決着を行います。これを45分間で行います。仮に決着が意に沿わなくとも実行に協力することになります。

先日(10/22)、2年1組と4年2組が来たる研究発表会(11/7)に向けたトライ授業として、それぞれ当日の指導案に合わせた「AorB」で学級会を展開してみました。もちろん実態が若干異なりますから全く指導案通りというわけにはいきませんが、子どもたちの考え方などの傾向や論点整理の視点を確認するには有効です。

このように研修を重ねることで、学級活動(学級会等)における教員の指導力向上も図っています。



◆ 第6回潮風ボランティア実施 10/20



※参加者合計 212名

内訳 (児童 154、大人 53、幼児 5)

◆ 子育て講演会 10/6 (就学時健診で)

来年度入学予定児童保護者を前に家庭教育アドバイザーの長田弘子氏より講演頂きました。今問われているのは親の姿…。ふれあいを大切にしてほしいとのことでした。来年度入学予定児童は27名で1学級になりそうです。



研究発表会(11/7)を控えて研修会をもった。まだ議題が AorB の状況に(子どもたちが)ならず、指導案に悩む担任もあり。45分間で決着させなければならぬ辛さはあるが、だからこそ学習になり得る。対立点を克服する妙案は本来なかなか見つからないものである。望ましいのは全員が満足する第3案の創案?しかし、それは45分間で叶わない。45分間で納得をかけての精一杯の話合いからの決着・実行が学習そのものである。某国会でも引き延ばし出来ないルールを作って必ず決着させたいのにと国会の体たらくを嘆く…。(土)